

令和6年度 山形県公立小中学校事務職員研究協議会



夏季研修会



参加者の声

令和6年7月31日（水）山形国際交流プラザにて、令和6年度山形県公立小中学校事務職員研究協議会夏季研修会が開催されました。

今回は、新潟県五泉市立五泉南小学校 総括事務主幹 新保房代氏をお招きし、「共同実施でひろがる学校事務の可能性」と題した講演が行われました。また、研究部より、10月に開催された東北地区公立小中学校事務研究大会岩手大会のプレ発表が行われました。

4名の方に感想を寄せていただきましたので、ご紹介します。

長井市立長井南中学校 事務主査 丸川 優子

毎年参加させていただいている夏季研修会。研修はもちろんですが、県内から集まる仲間と久しぶりに顔を合わせる楽しみもあります。

長井市はモデル校実施から5年。チームによる課題解決、初任者研修や兼務発令による事務支援など共同実施の良さを感じながらも課題もあります。そのようななかで、研究部のレポート発表や講演からは今後の方向性を示唆いただき、学びの多い研修会でした。

「先輩たちが築いてくれた現状を基礎として、発展させていくことがここにいる皆さんです。」この言葉を聞いた時、本市の共同実施の前身である学校事務連携会議の組織作りにかかわらせていただいたことを思い出し、先輩方のあの時の思いは今につながっていたことを改めて実感しました。

「共同実施は手段であって目的ではない。学校運営への参画を主体的にかつ積極的に行うための一手段」の会長の言葉にもあったように、目的を見失わず、個そして組織力を高め、共同学校事務室設置実現に向けて今すべきことを進めていきたいと思います。「やっちゃんえ共同実施！」



最上町立大堀小学校 主事 須藤 修平

今回の新保氏の講演を拝聴して真っ先に感じたのは、事務職員としての私は周りから大きく遅れを取っているのだというはっきりとした危機感だった。感想を書くにあたって、過去の夏季研修会の記録をひとつお読み直してみたが、私が初任者の頃から「事務をつかさどる」ことの意味や「共同学校事務室」の検討など、事務職員の未来について考え議論を重ね続けている。それでも、新潟県からは10年近く先を行かれているのだ。周りを頼るだけの



甘えは早々に捨て去って自ら動き出さなければ、この差は縮まるどころかむしろさらに広がってしまうだろう。

今後自分が目指すべき事務職員とはどのような姿か、それを実現するために何を知り、考え、発信するべきか。遅れていた者なりに行動に移してみようと思う。私はもう若手ではいられないのだから。

山形市立南山形小学校 主査 鶴野 由佳

初めて、新保さんのお話を直接伺って、その行動力やエネルギーに圧倒されました。新潟のやり方を追っていくには、相当な覚悟と志が必要だと感じました。新保さんのお話のなかにもありましたが、山形県でも年齢分布の偏りにより、主事しかいないグループは当然できますし、事務総括も不足することが目に見えています。若い人たちも、他人ごとではなく自分ごととして、自分たちが目指す姿を考えていかなければならないと思いました。その危機感を、新保さんのお話を伺うことで共有できたのではないのでしょうか。

今後の進む方向は悩ましいですが、一步踏み出すきっかけになるような、とても勇気をいただけるお話でした。

後半の交流タイムも、初めてお会いする方とお話ができ、とても有意義で楽しかったです。ありがとうございました。



鶴岡市立京田小学校 事務総括 小林 恵美

今年度の夏季研修会は「共同実施」一色でした。

研究部のプレゼン発表では、山形の現状を分析し視覚化、中期研修計画を絡め、OJTを通して資質向上や学校運営を担う一翼になるという課題を捉えた、はつらつとした発表でした。

新保先生の講演では、歯に衣着せぬ話しぶりと20年前を思い出したという言葉に“そうだよね〜”と一人うなずいてしまいました。新潟では、県教育委員会にも教育事務所にも学校事務職員からの配置があることをお聞きし羨ましく思いました。事務職員の研修制度や処遇を提案していくには必要なことだと思い返しました。社会が学校に求めていること、保護者の願い（自分が一番、子どもは…）、職員室に居るからできる能力の発揮、集まらない日も毎日が共同実施、世代交代によるベース部分の忘却等々。社会に望まれる学校にあわせて事務職員も変わらなければならない、学校事務の職が未来に残るために何をすべきか危機感を持たないといけないと身の引き締まる講演でした。

たくさんのご参加ありがとうございました！



新規採用事務職員紹介

今年度の新規採用事務職員（5名）を紹介します。以下、7つの内容で自己紹介をしていただきました。

- ① 名前
- ② 所属校
- ③ 出身地
- ④ 趣味・特技
- ⑤ 好きな食べ物
- ⑥ 好きな言葉
- ⑦ 7か月間過ごして思ったこと a.嬉しかったこと b.困ったこと c.びっくりしたこと

- ① 落合 正汰（おちあい しょうた）
- ② 山形市立金井小学校
- ③ 南陽市
- ④ バスケットボール
- ⑤ やきそば
- ⑥ 不撓不屈
- ⑦ a.誕生日に職場の方全員から祝っていたこと。
b.仕事を覚えられずに周りに迷惑をかけてしまっていること。
c.自分の知らないことが多いこと。



- ① 石澤 亜実（いしざわ あみ）
- ② 寒河江市立陵南中学校
- ③ 山形市
- ④ 旅行・スポーツ
- ⑤ 冷麺・いちご
- ⑥ 努力は不可能を可能にする
- ⑦ a.生徒たちが元気に活動している様子や日々成長していく姿を見守りながら仕事ができること。
b.先生方の質問に対して、まだ分からない内容があり、すぐに回答できなかったこと。
c.生徒と教職員の人数が多いこと。給食がとてもおいしいこと。



令和六年度
新規採用事務職員
の皆さん

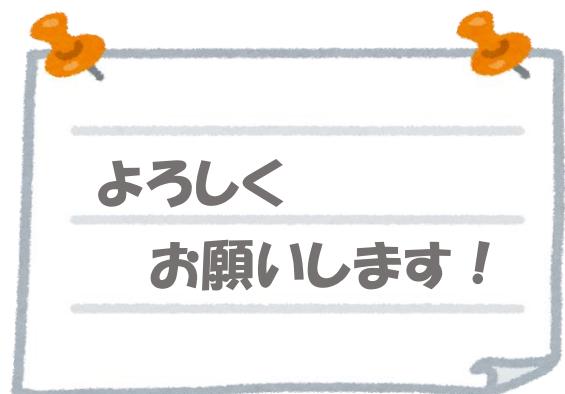
- ① 佐藤 夢楓（さとう ゆめか）
- ② 尾花沢市立宮沢小学校
- ③ 山形市
- ④ 洋楽を聴くこと・バスケットボール
- ⑤ 餃子
- ⑥ 百折不撓
- ⑦ a.子どもたちとバスケットや鬼ごっこを通して、なかよくなれたこと。
b.通勤距離が往復 100 キロ近くあるので、毎日の通勤時間が長いこと。
c.研修期間もないまま、仕事をこなさないといけないこと。



- ① 佐藤 花音（さとう かのん）
- ② 酒田市立広野小学校
- ③ 酒田市
- ④ 読書・知育菓子を作ること
- ⑤ アイスクリーム
毎日食べています。
- ⑥ 後悔は未来の選択のヒントにする
- ⑦ a.子どもたちと歳が近いので、「会話（流行など）が通じるから話していてとても楽しい。」と言われたこと。
b.分からないことが分からない毎日です。全体的に日々何かしらに困っていますが一生懸命頑張っています。
c.思った以上に事務職員の仕事が多いこと。こんなにたくさんあるということは想像できませんでした。



- ① 坂野 芽衣（さかの めい）
- ② 長井市立伊佐沢小学校
- ③ 米沢市
- ④ 推し活・バレーボール
- ⑤ 青椒肉絲・辛いもの
- ⑥ 十人十色
- ⑦ a.仕事のサイクルがしっかり身に付いてきたこと。
b.仕事を覚えるなかで、専門用語や複雑な業務が多いこと。
c.1年目から、学校のお金を一人で管理しなければならないこと。



5名の皆さん、ありがとうございました！

思い出の

学校給食メニュー



皆さんにとっての「思い出の給食メニュー」はなんでしょうか？ 地域ならではのものや
自校給食、今はなきメニューなど、出会ったことのない給食がたくさんあることでしょう。
今回は、子どもも大人も大好き♡な給食をテーマにしました。

～ 新たな世界の発見「カラフルもずく丼」～



「カラフル」給食のメニューにこの4文字が並んだら皆さんはどんなものを想像されますか？ デザート一択だと思った皆さん、ハズレです。正解は、聞いてびっくり「カラフルもずく丼」です。「カラフルなもずくとは何ぞや！」と思われるかもしれませんが、当然のことながらもずくがカラフルな訳ではありません。コーンや枝豆を混ぜることで彩りが良くなり、もずくのつるつとしたのと越しと相まってとても食べやすいのです。子どもたちはもちろん、大人の私も一度口に入れたら箸が止まらなくなるほどの悪魔的な味です。ネーミング・見た目・味のすべてを備えている星3つの衝撃のメニューです。

米沢市に赴任して、若しくは各校の栄養教諭等に提案をして、ぜひご堪能ください。そこにはきっとまだ皆さんが感じたことのない新しい世界が広がるはずです。

ペンネーム「応援団長」

～ 地域食 いろいろ ～

子どもの頃、楽しみと言えば給食。勤めてからも給食が食べられるのは嬉しいことです。心に残る給食メニューを話題にしてみました。

「冷やし中華（鶴岡市）」暑い夏に楽しみなメニューでした。胡瓜・ハム・炒り卵と飲んでもおいしい冷たいスープの組み合わせは絶妙でした。今年度から麺のメニューがなくなりましたが、もう一度食べたい思い出の味です。

「揚げパン（最上町）」砂糖やきな粉味・ココア味などがあり、人気メニューでした。ランチルームでみんなで食べた、温かいパンに砂糖がいっぱいにまぶされている給食の揚げパン、また食べてみたいな～。



「地場産の果物（上山市）」干し柿・さくらんぼ・ラフランス、給食に甘い物が出る時はとても嬉しかったです。購入すると高価な果物を給食に取り入れていただけて、とてもありがたいことですね。



食べ物のお話は幸せになります。

ペンネーム「上山きらり」



ねっどわ〜く



from 白鷹町

白鷹町には春はサクラ、夏はベニバナ、秋はアユ、冬は隠れ蕎麦屋の里と四季折々の楽しみ方があります。

今回紹介するのは秋のアユについてです。

鮎は、1年で命が尽きることから「年魚（ねんぎょ）」と呼ばれています。また、柳のようなスリムな形をしており、その身からスイカに似た香りがするため「香魚（こうぎょ）」と呼ばれることもあります。

道の駅「白鷹ヤナ公園」で毎年開催される「白鷹鮎まつり」では、鮎の塩焼きを楽しむことができます。

この時期にしか食べられない「落ち鮎（秋の産卵期に川を下ってきた鮎）」は、たっぷりの卵が入っていて、プチプチとした食感が口に広がりとてもおいしいです。



「うまいもの市」では、鮎のほかに団子やパンも販売されています。また、体験コーナーでは、バルーンアートやロクロの体験も楽しむことができますので、秋の時期にはぜひ一度いらしてみてください☆彡

from 中山町

中山町は山形県のほぼ中央部にある、県内で一番面積が小さい町です。温泉施設や図書館、文化スポーツ施設等がコンパクトにまとまり、隣接する山形市等とのアクセスも良好な住み良い町です。

全国かぶと虫相撲大会

毎年、海の日「全国かぶと虫相撲大会」が開催されます。全国から、ちびっこ親方&自慢のカブトムシが大集合！横綱を目指して熱戦を繰り広げます。

ひまわり迷路

夏に見頃を迎える「ひまわり」は町の花。羽前長崎駅前には、町内の小学生が考案した高さ約2mものひまわりに囲まれる「ひまわり迷路」が出現します。

だるまや菓子店

だるまシューが人気ですが、定番商品「チーズズコット」もおすすめ！スフレタイプのチーズケーキで、口の中でシュワッと溶けてなくなる食感がやみつきになります♪

中山町はここ！

